

関門海峡をより安全に 小型漁船と一般航行船舶との衝突回避の実態研究

メタデータ	言語: Japanese
	出版者: 水産研究・教育機構
	公開日: 2025-01-14
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 酒出, 昌寿
	メールアドレス:
URL	所属: 水産研究・教育機構
	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2012567

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



関門海峡をより安全に

小型漁船と一般航行船舶との 衝突回避の実態研究



海洋生産管理学科
酒出 昌寿

研究の目的

関門海峡は海上交通の要所で、潮流が速く、日本有数の難所です。同時に良い漁場でもあることから操業する小型漁船と一般航行船舶の衝突リスクが高い海域です。目的は異なりますが、この海域を利用する両者の安全と海難防止に向けた取り組みや政策に寄与するため、避航(相手の船舶の予想進路から避ける)実態を把握、評価する研究に取り組んでいます。

研究の成果

関門海峡の最狭部となる早鞆瀬戸(最小可航幅約500m)において、小型漁船と一般航行船舶との避航実態を動画撮影して分析すると、当瀬戸にて推奨される下関導灯指導線に沿って西航する全長100m以上の大型船舶の接近に対し約80%の小型漁船が協力的に避けるものの、全長100m未満の船舶の接近に対しては小型漁船から避航する割合が減少し、一般航行船舶の避航動作が増加しています。



図1 関門海峡最狭部(早鞆瀬戸)における小型漁船の操業と一般航行船舶の通航の様子
白矢印は操業中の小型漁船

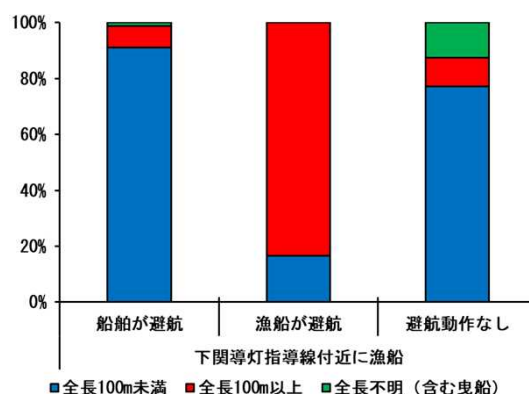


図2 早鞆瀬戸を下関導灯に沿って西航する一般航行船舶の全長別でみた小型漁船との避航実態の比較

波及効果

- ・ 関門海峡での漁業者、船舶運航者の安全意識の向上
- ・ 関係官庁の海上安全管理政策の推進